

平成 2 1 年度 事業報告書

自 平成 2 1 年 4 月 1 日
至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日



I. 青少年活動

1. 子ども自然体験活動

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ《子どもゆめ基金助成事業》

ア. 本部主催「子ども自然体験キャンプ」

〈別表－1〉

開催期間 7～10月 <2泊3日～3泊4日>

開催数 7会場〈えさし、桧原湖畔、いばらき、富士山、関西、瀬戸内海、沖縄〉
 〈沖縄キャンプは台風のため延期し10月10日～12日に開催〉

参加者数 511名(7名)※()内は招待障害児数

スタッフ等 210名

イ. 連合会・支部共催「子ども自然体験キャンプ」

〈別表－1〉

開催期間 7～8月 <3泊4日～4泊5日>

開催数 8会場(美幌、嵐山、房総、岐阜、広島、山口、北部九州、鹿児島)

参加者数 429名(6名) ※()内は招待障害児数

スタッフ等 252名

ウ. 企画委員会の委嘱及び開催

開催日 6月28日(日)

会場 SYD会議室

企画委員 浦田憲二(東京成徳大学准教授) 郡司俊雄(江戸川大学教授)

田中浩史(NHK放送文化研究所) 土井浩信(淑徳大学教授)

増子則博(福島県連青年部) 前田和弘(千葉県連青年部)

海田孝行(岐阜県連青年部) 石田博嗣(広島県連青年部)

古賀克彦(福島県連青年部) 山城 剛(OYG支部)

本団出席者 山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、青木富造、平山行雄、山崎政弘、
 古城門奈津

エ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①えさし	根岸秋吉	塚本智章	②桧原湖畔	山崎政弘	古城門奈津
③いばらき	根岸秋吉	真下淳一	④富士山	寺岡 賢	古城門奈津
⑤関 西	寺岡 賢	望月千加	⑥瀬戸内海	保坂正志	真下淳一
⑦沖 縄	平山行雄	古城門奈津	リーダーキャンプ	平山行雄	山口千恵子

オ. キャンプ事前調査

No.	キャンプ名	実施日	派遣講師
1	えさし	6月2日(火)～4日(木)	根岸秋吉
2	桧原湖畔	6月16日(火)～18日(木)	山崎政弘
3	いばらき	6月25日(木)～26日(金)	青木富造
4	富士山	6月3日(水)～5日(金)	寺岡 賢
5	関 西	6月25日(木)～26日(金)	寺岡 賢
6	瀬戸内海	6月7日(日)～10日(水)	保坂正志
7	沖 縄	6月15日(月)～18日(木)	平山行雄

カ. 印刷物の作成

①子ども自然体験キャンプリーフレットの作成

部 数 16,000部
体 裁 A2版、4色刷

②子ども自然体験キャンプ報告書

部 数 1,500部
体 裁 A4版、107頁

(2) 冬期子ども自然体験キャンプ

《第1回》

開催日 12月26日(土)～30日(水) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及び裏磐梯スキー場)
参加者数 68名(リーダー15名・子ども53名)
指導者等 高橋源一郎(SAJスキー指導員)、棚木弘喜(SAJスキー指導員)
青木富造、平山行雄、山崎政弘、古城門奈津、志村和也

《特別開催》

開催日 平成22年1月4日(月)～7日(木) <3泊4日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及び裏磐梯スキー場)
参加者数 38名(リーダー13名・子ども25名)
指導者等 棚木弘喜(SAJスキー指導員)
青木富造、平山行雄、山崎政弘、志村和也

《第2回》

開催日 平成22年3月26日(金)～30日(火) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及び裏磐梯スキー場)
参加者数 66名(リーダー17名・子ども49名)
指導者等 高橋源一郎(SAJスキー指導員)、五十嵐典矢(SAJスキー指導員)
棚木弘喜(SAJスキー指導員)
青木富造、平山行雄、古城門奈津、志村和也

2. 子どもボランティア活動推進事業《子どもゆめ基金助成事業》

(1) 幸せの種まきキャンペーン

ア. 幸せの種まきキャンペーン《出前講座》の実施 (別表-2)

開催数 133会場
参加者数 29,114名
派遣講師 各2～3名
体験発表者 14名(青年ボランティア・アクションinフィリピン参加者)

イ. 幸せの種まきキャンペーン・パンフレットの作成・配布

体 裁 A4版、8頁、4色刷
部 数 18,500部

(2) 子ども週末体験活動の推進《子どもゆめ基金助成事業》

〈別表-3〉

ア. 子ども週末体験推進協議会

開催数 4会場
参加者数 59名
指導者等 10名

イ. 子ども週末体験実践活動

開催数 10会場
参加者数 435名
指導者等 講師14名、青年指導者40名、リーダー130名

3. 『少年少女』講習会 (会場：伊勢青少年研修センター)

(1) 夏期少年少女合宿講習会(各地青年会議所共催)

期 日	実施団体 / 実施名称	参加者数
7月31日(金)～8月2日(日)	社団法人岸和田青年会議所 「岸和田少年少女サマースクール」	63名
8月 3日(月)～ 5日(水)	社団法人伊勢青年会議所 「伊勢少年少女合宿講習会」	143名
合 計	2 回	206名
前 年 度	3 回	282名

(2) 第9回ナイトウォーク親子の集い

開催日 9月5日(土)～6日(日)
対 象 小学3年生以上の子どもと大人
参加者数 77名(ほかスタッフ26名)

4. SYD指導者の養成

(1) 自然体験活動リーダー研修会《子どもゆめ基金助成事業》

ア. 全国自然体験リーダーキャンプ

開催日 7月28日(火)～8月1日(土)〈4泊5日〉
会 場 ばんだいふれあいぴあ
参加者数 29名(全国の中学生及び高校生以上の青年リーダー)
指導者等 郡司俊雄(江戸川大学教授)、小荒井 実(福島県環境アドバイザー)
川島正吏(福島県山岳ガイド)
山崎一紀、平山行雄、山口千恵子、山崎政弘、古城門奈津

イ. 自然体験キャンプリーダー研修会

〈別表-4〉

開催日 6～8月 〈各1泊2日〉
開催数 7会場
参加者数 101名
指導者 9名

(2) 社会奉仕体験活動リーダー養成

ア. 青年ボランティア・アクションin福島《子どもゆめ基金助成事業》

開催日 平成22年3月31日(水)～4月5日(月) <5泊6日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び国立磐梯青少年交流の家)
参加者数 13名
講師等 遠藤信幸(介護福祉士)、
山崎一紀、青木富造、平山行雄、古城門奈津、志村和也

*事業開催日が平成22年度に跨る為、《子どもゆめ基金》では、平成22年度事業とする。

【事前調査】

開催日 平成22年2月8日(月)～10日(水)
派遣者 根岸秋吉、志村和也
実施地区 福島県下(喜多方市、会津若松市、郡山市、猪苗代町)

イ. 青年ボランティア・シンポジウムin高遠《子どもゆめ基金助成事業》

開催日 11月21日(土)～23日(月・祝) <2泊3日>
開催会場 国立信州高遠青少年自然の家
参加者数 33名(中学生及び高校生以上の青年リーダー)
指導者等 山崎一紀、青木富造、山口千恵子、平山行雄、山崎政弘、古城門奈津、志村和也

【事前調査】

開催日 10月14日(水)
開催会場 国立信州高遠青少年自然の家
派遣者 山崎政弘

ウ. 全国青年ボランティア・フェスティバル《子どもゆめ基金助成事業》

開催日 平成22年2月6日(土)～7日(日) <1泊2日>
開催会場 国立青少年総合センター・SYDホール
参加者数 39名(中学生及び高校生以上の青年リーダー)
指導者等 山崎一紀、青木富造、山口千恵子、平山行雄、古城門奈津、志村和也

エ. 青年とボランティア活動報告書作成

部数 500部
体裁 A4版、75頁

(3) SYD指導者資格認定制度

自然体験活動や社会奉仕体験活動等を日常的に展開する指導者の養成を目指し、自然体験活動推進協議会(CONE)と連携した指導者資格証を発行するなど、SYD指導者資格認定制度の運用と充実を図った。

5. 青年組織育成活動

(1) 自然体験キャンプ担当者会議（青年部中央委員）《子どもゆめ基金助成事業》

開催日 7月4日(土)～5日(日) <1泊2日>

会場 国立青少年総合センター

出席者 16名（開催地キャンプ担当者）

講師等 土井浩信（淑徳大学教授）

山崎一紀、青木富造、平山行雄、山崎政弘、古城門奈津

(2) SYD青年ゼミナール《子どもゆめ基金助成事業》

開催日	テーマ	発表者	参加者数
4月17日(金)	世界一周二人旅 ～旅が教えてくれたこと～	志村和也 岩村樹里	38名
6月12日(金)	世界青年の船に参加して ～世界は広い。世界は狭い。と感じた42日間～	日向恒人 斎藤良輔	22名
10月 2日(金)	フィリピンでのボランティア交流体験	中井大輝 葉梨未帆子 橋本浩輔	26名
11月 6日(金)	大学生によるミャンマーでの教育支援	太田憲人 林田健治	22名
12月11日(金)	実践、音痴矯正 ～世の中に音痴な人はいない～	高牧 康	23名
2月19日(金)	女性起業家による「仕事の楽しさ・幸せ」	水野谷良子	24名
3月19日(金)	歴史に学ぶ ～今、我々に眠る日本の心～	藤松泰通	28名
合 計		12名	183名

(3) 指導者の派遣及び青年組織活動への助成

青年組織からの要請により、指導者の派遣及び青少年活動への助成を行った。

ア. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	実施日	派遣講師	キャンプ名	実施日	派遣講師
①美 幌	7月30日(木) ～8月2日(日)	久世郁夫	②嵐 山	8月6日(木) ～9日(日)	岩佐加寿子
③岐 阜	8月8日(土) ～11日(火)	保坂正志	④広 島	8月15日(土) ～18日(火)	平山行雄
⑤北部九州	8月9日(日) ～12日(水)	久世郁夫	⑥鹿 児 島	8月9日(日) ～12日(水)	青木富造 山崎政弘

イ. 青少年活動パンフレット作成

部 数 20,000部

体 裁 A4版

Ⅱ. 国際交流活動

1. ボランティア・アクション in フィリピン

(1) 青年ボランティア・アクション in フィリピン

開催日 8月18日(火)～24日(月) <6泊7日>

訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市 他)

参加者数 23名(全国の中学生及び高校生以上の青年リーダー)

スタッフ 青木富造、山口千恵子

(2) 青年ボランティア・アクション in フィリピン支援品作成作業

期 日 8月14日(金)～17日(月) <4日>

参加者 8/14:10名、8/15:6名、8/16:10名、8/17:15名

(3) 青年ボランティア・アクション in フィリピン報告書作成

部 数 1000部

体 裁 A4版

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) ブラジルへの指導者派遣

派遣期日 平成22年1月6日(水)～2月17日(水) <43日間>

派遣先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ 他)

活 動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会 他

派遣者 寺岡賢

ア. 少年少女講習会、研修会

No.	開催日	事業名	参加者	リーダー	指導者	炊事	合計
1	1月8日 ～10日	モジ・ダス・クルーゼス 少年少女講習会	87名	22名	5名	15名	129名
2	1月15日 ～17日	スザノ少年少女講習会	199名	30名	10名	25名	264名
3	1月19日 ～21日	第35回アサイ少年少女講習会	75名	12名	10名	15名	112名
4	1月22日 ～24日	第19回マリンガ修養林間学校	159名	20名	10名	25名	215名
5	1月25日 ～27日	第6回マウアーダセーハ 少年少女講習会	77名	15名	7名	15名	114名
6	1月28日 ～30日	第5回ロンドリーナリーダー 養成講習会	59名	11名	8名	15名	93名
7	2月6日 ～7日	リーダー研修会	60名	—	2名	2名	64名
合計			716名	110名	52名	112名	991名

イ. 講演会

No.	開催日	事業名	参加者
1	1月24日	マリング文化体育協会講演会	90名
2	2月6日	イグアス植民地日本人会講演会	33名
3	2月9日	サントアマーロ青空会講演会	60名
4	2月11日	ブラジルを美しくする会講演会	23名
合計			206名

(2) ブラジル青少年指導者の招聘

ア. 青年リーダーの招聘

期 日 7月15日(水)～8月9日(日) <26日間>

招 聘 者 山口仁(22歳・大学3年)・松岡ダニエル(22歳・社会人)

主な日程 本部研修、富士登山研修、伊勢研修、ぼんたいふれあいぴあ、都内視察 他

イ. 指導者の招聘

期 日 平成22年1月27日(火)～2月15日(日) <20日間>

招 聘 者 やつがふ八ヶ婦 敏男 マリオ(62歳)

主な日程 本部・伊勢青少年研修センター・ぼんたいふれあいぴあ各研修、都内視察 他

3. 関係団体協力事業(関係機関・団体主催事業への派遣・受入活動協力)

(1) 派遣事業

ア. ミクロネシア諸島自然体験事業(文部科学省委託事業)

主 催 (独)国立青少年教育振興機構、(社)中央青少年団体連絡協議会

期 日 7月23日(木)～31日(金) <9日間>

派 遣 先 ミクロネシア諸島

派 遣 者 ディレクター 青木富造<ポンペイ州>

リーダー 葉梨未帆子<コスラエ州>、岩村樹里<マーシャル>

参 加 者 國分範史：東京都・中学1年<ミクロネシア連邦コスラエ州>

高木航志：香川県・小学6年<パラオ共和国>

石原直登：東京都・小学6年<パラオ共和国>

長谷川尚紀：千葉県・小学5年<マーシャル諸島共和国>

①ミクロネシア諸島自然体験事業随行者研修会(文部科学省委託事業)

主 催 (独)国立青少年教育振興機構、(社)中央青少年団体連絡協議会

期 日 6月4日(木)～6日(土) <2泊3日>

会 場 国立青少年総合センター

派 遣 者 青木富造

②ミクロネシア諸島自然体験事業招聘事業(文部科学省委託事業)

主 催 (独)国立青少年教育振興機構、(社)中央青少年団体連絡協議会

期 日 6月20日(土)～22日(月)、24日(水)、29日(月)、30日(火)

派 遣 先 東京都、他

派 遣 者 青木富造

③ミクロネシア諸島自然体験事業出発研修会（文部科学省委託事業）
主 催 (独)国立青少年教育振興機構、(社)中央青少年団体連絡協議会
期 日 7月20日(月・祝)～23日(木) <3泊4日>
派遣先 国立青少年総合センター
派遣者 青木富造

イ. 日本青年訪中団体表団D分団青年団体（派遣）
主 催 日 日本派遣団体：財団法人日中友好会館
中国受入団体：中華全国青年連合会
期 日 9月16日(水)～22日(火・祝) <6泊7日>
※9月15日(火) 事前研修会〈会場：財団法人日中友好会館〉
派遣先 中国・北京市、昆明市、広州市 他
派遣者 山崎政弘

ウ. 東アジア生命平和運動未来指導者養成プログラム

①東アジア生命平和運動未来指導者養成プログラム準備会議

主 催 (社)中央青少年団体連絡協議会
期 日 9月7日(月)～9日(水) <2泊3日>
派遣先 韓国
派遣者 青木富造

②東アジア生命平和運動未来指導者養成プログラム(派遣)

主 催 (社)中央青少年団体連絡協議会
期 日 11月13日(金)～16日(月) <3泊4日>
※11月12日(木) 事前研修会
派遣先 韓国
派遣者 準備委員 青木富造
参加者 根岸千紘(法政大学・3年)、
二殿大輔(立命館大学・4年)、
志村和也(SYD青年部)

エ. 韓国青少年交流事業(派遣)

主 催 (社)中央青少年団体連絡協議会
受入団体 韓国青少年団体協議会
期 日 平成22年3月19日(金)～25日(木) <6泊7日>
※3月18日(木) 事前研修会
派遣先 韓国
派遣者 田平みなみ(精華学園高等学校3年・SYD宇部マインドベル支部)

(2) 受入事業

ア. コアリーダー育成プログラム受入

主 催 内閣府
期 日 平成22年2月4日(木)
課 題 事業運営マネージャーとしての能力向上
エスコート 福田達男(SYDいばらき支部)
出席者 山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、山崎政弘
訪問者 32名(フィンランド8名、ドイツ7名、英国7名、他10名)

イ. 日中青少年指導者交流受入事業

主 催 (社)中央青少年団体連絡協議会
期 日 平成22年1月21日(木)～26日(火) <5泊6日>
活動地 都区内 他
エスコート 平山行雄

ウ. 日韓青少年交流受入事業
主 催 (社)中央青少年団体連絡協議会
期 日 平成22年2月4日(木)～10日(水) <6泊7日>
活 動 地 都内、静岡県 他
エスコート 平山行雄

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会 (定例講習会) <別表-5>

開催数 12回 <各3泊4日>
参加者数 394名

(2) 「みがく」特別講習会 <別表-6>

開催数 5回 <各1泊2日>
参加者数 416名

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 間 A初穂曳コース：10月15日(木)～17日(土) <2泊3日>
B神嘗祭コース：10月16日(金)～17日(土) <1泊2日>

参加者数 A：50名 B：45名 計95名 (定員70名)

対 象 一般社会人

イ. 初詣新春の集い

期 間 平成22年1月9日(土)～10日(日) <1泊2日>
参加者数 86名 (定員100名)

ウ. 「いのちのまつり」トークライブ

開催日 10月22日(木)～23日(金)

対象者 子ども・大人

参加者数 49名

出演者 ナビゲーター 草場一壽 (陶彩画家・絵本「いのちのまつり」作者)

ピ ア ノ 弓削田健介 (シンガーソングライター)

朗 読 夢輝のあ (歌手・女優)

(4) 講師の派遣 <別表-7>

派遣数 23回
参加者数 1,727名

2. 関東・東北地区講習会

(1) 新入社員2DAYSセミナー

期 間 4月20日(月)～21日(火)

会 場 SYDホール

参加者数 10名

(2) リフレッシュセミナー

期 日 平成22年2月17日(水)～19日(金) <2泊3日>

会 場 レークサイド磐光(福島県)

参加者数 18名

3. 受託セミナー

〈別表－8〉

(1) ブラインドウォークセミナー
開催数 14回
参加者数 279名

(2) パート社員セミナー
開催数 15回
参加者数 1,671名

(3) 新入社員セミナー
開催数 12回
参加者数 759名

(4) 一般社員セミナー
開催数 8回
参加者数 342名

(5) 一般セミナー
開催数 3回
参加者数 133名

4. 連合会・支部、企業・青少年団体等への講師派遣・幹旋

〈講習会・講演会への講師派遣〉集計

〈別表－9〉

(1) 講習会
開催数 137回
参加者数 6,978名

(2) 講演会
開催数 24回
参加者数 1,797名

IV. 家庭教育活動

1. さわやか家庭《共育》セミナー

〈別表－10〉

連合会・支部等を実施団体として、地元の教育委員会やPTA、幼稚園など諸機関・団体と連携をとって開催。親や大人が子どもと共に育つことの大切さと、家族・学校・地域が共に協力して青少年を育てようと呼びかけた。

期 間 通年 〈各1日〉
開催数 11会場
参加者数 621名 (1会場平均56名)
講師 17名 (各会場1～3名)

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

各事業を実施し、会員および支部・連合会等と連携を図りながら「幸せの種まき運動」を展開した。

(1) 愛汗実践塾

「愛と汗」の理念を学び、その実践への意欲を高める機会とし、研修会方式で実施した。

ア. たむら支部(福島県)

開催日 6月17日(水)
会場 船引町商工会館
参加者数 35名(支部法人会員6社から参加)
講師 久世郁夫、根岸秋吉

イ. いばらき支部(茨城県)

開催日 平成22年3月13日(土)
会場 SYD会議室
参加者数 7名
講師 久世郁夫、根岸秋吉

(2) 第1回「ストリートチルドレン支援チャリティー演芸会」～立川流落語会の巻

開催日 6月19日(金)
会場 SYDホール
参加者数 124名
出演者 立川談四楼、立川志らく、立川らく次、立川三四郎
※収益金58,550円を「幸せの種まき献金」へ入金した。

(3) 第6回「平田康子チャリティーJAZZコンサート」～ストリートチルドレン支援～

開催日 10月9日(金)
会場 SYDホール
参加者数 180名
出演者 ジャズ・ヴォーカルの平田康子さんなどプロのミュージシャン8名
※収益金321,982円を「幸せの種まき献金」へ入金した。

(4) 第12回「幸せの種まき祭り」～ストリートチルドレン支援～

各地の連合会・支部・クラブや関係企業等から提供いただいた衣料品、名産品、野菜などを販売するチャリティーバザーを中心に実施。近隣の方々や関東地区の会員などが来場、ボランティア40名の協力を得た。

開催日 11月8日(日)
会場 SYDホールほか
参加者数 400名(埼玉県連合会がバス2台で79名参加、祭り参加後は都内観光へ)
※バザー等による収益金247,037円を「幸せの種まき献金」へ入金した。

2. 会員の加入促進

(1) 会員の現状

〈別表－11〉

会員種別	当年度(22. 3. 31現在)	前年度(21. 3. 31現在)	増減
ふれあい会員	597	470	127
愛会員	1,239	1,477	△238
向上会員	2,367	2,705	△338
永生会員	10,728	10,727	1
合計	14,931	15,379	△448

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(22. 3. 31現状)	前年度(21. 3. 31現状)	増減
法人会員	126	132	△6
個人会員	199	190	9
合計	325	322	3

3. 支部・連合会等への活動支援

(1) 講師・役職員の派遣

〈別表－12〉

連合会・支部等の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。

回数 20回(随時)

(2) 「皇居勤労奉仕」への支援

連合会・支部による奉仕団の実施を支援し、職員を派遣した。

ア. 静岡県連合会「静岡県修養団皇居勤労奉仕団」

実施日 4月14日(火)～17日(金) 〈3泊4日〉

参加者数 45名(小川職員を事務担当者として派遣)

※4月14日に本部を訪問(講話・山崎一紀)

イ. 広島県連合会「広島県修養団皇居勤労奉仕団」

実施日 9月13日(日)～18日(金) 〈5泊6日〉

参加者数 16名(小川職員を事務担当者として派遣)

※9月15日に本部を訪問(講話・久世郁夫)

ウ. 赤来支部「島根県修養団皇居勤労奉仕団」

実施日 10月4日(日)～8日(木) 〈4泊5日〉

参加者数 14名(小川職員を事務担当者として派遣)

※10月6日に本部を訪問(講話・山崎一紀)

(3) 「SYDかわらばん<最新活動情報>」の発行・配布

主催事業・活動および会員組織の活動・事業等の最新活動情報を掲載し、毎月20日頃(8月を除く)、各1,200部を連合会・支部・クラブ、評議員等に送付した(N0.18～N0.28)。また、主な記事は、毎月、SYDホームページ「webかわらばん」で発信した。

(4) 「SYDカード」の発行・配布

会員が携帯して日々の生活に役立てるとともに、集会や活動で活用することを目的に、「誓願」や「私たちの実践目標」などを内容としたSYDカードを7,000枚作成。各連合会・支部・クラブ等を通じて5,000枚を配布した。

(5) 諸団体との連携

社会教育団体振興協議会、(財)あしたの日本を創る協会、(社)東京のあすを創る協会などと連携を図った。また、千修会（修養団内に事務所を置き、千駄ヶ谷・代々木・神宮前の町会、商店会、シニアクラブの役員等により、まちづくり活動を通じて地域の活性化を目指して平成11年に設立された会）の創立10周年記念事業（3月7日）の開催に協力した。

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

連合会・支部・クラブ、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動を行った。また、ハイチ大地震被災者支援については、特別に募金を呼びかけた。

単位：円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月計金額	83,025	109,723	290,207	334,741	128,463	108,245
一般献金	49,025	51,723	175,407	130,741	42,463	40,245
指定献金	34,000	58,000	114,800	204,000	86,000	68,000
ハイチ大地震	0	0	0	0	0	0
子ども学資支援	34,000	58,000	82,000	154,000	46,000	58,000
大学生学資支援	0	0	12,800	0	0	0
学校支援	0	0	20,000	0	40,000	10,000
子ども医療支援	0	0	0	50,000	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月計金額	498,068	549,692	812,796	160,130	520,292	236,360
一般献金	434,068	370,170	746,796	48,130	48,700	66,515
指定献金	64,000	179,522	66,000	112,000	471,592	169,845
ハイチ大地震	0	0	0	10,000	327,592	39,845
子ども学資支援	34,000	34,000	46,000	82,000	54,000	118,000
大学生学資支援	0	120,522	0	0	60,000	0
学校支援	30,000	25,000	20,000	20,000	30,000	12,000
子ども医療支援	0	0	0	0	0	0
	今年度		前年度			
年間合計金額	3,831,742 (262件)		6,162,402 (311件)			
一般献金	2,203,983 (151件)		※前年度には、ミャンマーサイクロン、中国四川大地震、岩手・宮城内陸地震への義援金(64件 807,453円)のほか、学資支援の大口(2件 1,700,000円)が含まれる。			
指定献金	1,627,759 (111件)					
ハイチ大地震	377,437 (34件)					
子ども学資支援	800,000 (58件)					
大学生学資支援	193,322 (4件)					
学校支援	207,000 (14件)					
子ども医療支援	50,000 (1件)					

☆指定献金の子ども学資支援、大学生学資支援、学校支援、子ども医療支援は全てフィリピン向け支援を示す。

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供46名、大学生9名の学資支援等を行ったほか、ブラジルの施設を支援した。また、災害支援及び国内の高齢者や障害者施設などを支援した。

フィリピン：	ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等)	660,000 円
フィリピン：	子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・46名)	552,000 円
フィリピン：	子ども(大学生)学資支援(スカベンジャー・9名)	1,350,000 円
フィリピン：	「パンガラップ ラーニングセンター」(学校支援)	1,200,000 円
フィリピン：	ストリートチルドレン(医療費)	50,000 円
フィリピン：	「マザーテレサの家」	19,960 円
ブラジル：	「コロニア・ベネーザ」(教育支援)	70,000 円
ハイチ：	ハイチ大地震義援金(NPO法人難民を助ける会)	377,437 円
三重県：	伊勢身体障害者「協和会」	100,000 円
三重県：	身体障害者小規模授産施設 共同作業所「末芳園」	100,000 円
三重県：	社会福祉法人わかたけ「わかたけ萩の里」	50,000 円
三重県：	社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」	50,000 円
三重県：	小規模作業所「工房ぼちぼち倶楽部」	50,000 円
三重県：	「エンゼル会」	30,000 円
三重県：	特定非営利活動法人「ステップワン」	30,000 円
福島県：	特別養護老人ホーム「北原荘」	30,000 円
福島県：	特別養護老人ホーム「しょうぶ苑」	30,000 円
福島県：	高齢者生活センター「しゃくなげホーム」	30,000 円
合 計		4,779,397 円
前年度合計		5,344,560 円

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ	備考
4月号	4,400部	ほめる	
5月号	4,300部	育てる	
6月号	4,300部	考える	
7月号	4,200部	努力する	
8月号	4,800部	思いやる	夏期事業配布用850部含む
9月号	4,000部	くつろぐ	
10月号	4,100部	親しむ	
11月号	4,000部	感謝する	
12月号	4,100部	見守る	
1月号	4,300部	決める	
2月号	4,400部	励ます	
3月号	4,000部	愛する	
合計	50,900部	(前年度52,300部)	

(2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	2,200部	
5月号	2,200部	
6月号	2,200部	
7月号	2,400部	「ふれあい特集号」462部含む
8月号	2,900部	夏期事業配布用850部含む
9月号	2,100部	
10月号	2,200部	
11月号	2,700部	「ふれあい特集号」505部含む
12月号	2,200部	
1月号	2,200部	
2月号	2,500部	
3月号	2,500部	「ふれあい特集号」501部含む
合計	28,300部	(前年度29,900部)

2. 平成22年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題名 笑顔になあれ！
作者 〈絵と文字〉小野里匡笑
体裁 日めくり式短冊形・33枚、4色刷
印刷部数 24,500部(宣伝用含む)

(2) 販売

「日々の力」愛好者をはじめ会社の贈呈用、支部会員配布用などにご利用頂いた。

区分	件数	部数
一般名入	64件	13,680部
SYD名入	75件	3,293部
無地	109件	1,747部
予定表付	42件	642部
合計	290件	19,362部
前年度合計	291件	21,866部

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

(1) 利用状況

〈別表-13〉

ア. SYD主催講習会

開催数 24回(前年度19回)
参加者数 1,323名(前年度948名)

イ. 受託講習会

〈別表-14〉

開催数 31回(前年度16回)
参加者数 1,315名(前年度666名)

ウ. 一般研修会

〈別表-15〉

開催数 57回(前年度76回)
参加者数 2,366名(前年度3,344名)

(2) 整備

ア. 平成21年度「年賀寄附金配分事業」(郵便事業株)「大講堂トイレの老朽化に伴う洋式化改修工事」

大講堂1階のトイレ10箇所を洋式化した。

事業費 2,922,150円(うち配分金1,950,000円)
工期 6月1日～7月8日 ※8月21日に事業完了報告書を提出した。

イ. (財)森村豊明会助成事業

伊勢青少年研修センターの宿泊室・食堂の畳表替えを行った。

事業費 2,557,170円(うち助成金2,000,000円)
工期 11月20日終了

2. 修養団SYDビル・SYDホール

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回数 144回 (前年度181回)
利用者数 18,020名 (前年度23,370名)

イ. SYD会議室(16階)

回数 39回 (前年度41回)
利用者数 860名 (前年度800名)

3. ばんだいふれあいびあ

(1) 利用状況

月	利用団体数	利用者数	延べ利用者数
4月	0	0	0
5月	2	19	72
6月	2	15	42
7月	2	185	440
8月	3	423	2,815
9月	3	135	180
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	1	68	340
1月	3	51	183
2月	6	114	218
3月	3	92	364
合計	25回	1,102名	4,654名
前年度合計	26回	964名	4,404名

(2) 主な利用団体(敬称略・順不同)

ひばり保育園、喜多方市立第一小学校6学年PTA、栃木県キャンプ協会、飯豊の山案内人の会、日立アプライアンス労働組合多賀支部、ホテル観山、SYDいばらき支部、SYD千葉ハーティークラブほか

(3) 整備など

- ・業務打ち合わせ及び関係先挨拶まわり(11月16日～17日)
- ・給湯管取替え工事(12月4日終了)

4. 関西会館

関西地区の活動拠点として、またテナントスペースの適正管理を行った。

IX. 関係機関・団体との協力活動

1. 関係機関・団体との協力活動

〈別表－16〉

青少年教育及び社会教育関係団体・機関との連携を図り協力し合い、青少年の健全育成ならびに社会教育に関する会議等に別紙のとおり出席した。

2. 関係機関・団体への委員等の就任

社会教育団体振興協議会	会長	國分正明
	副会長	山崎一紀
	幹事	久世郁夫
全国体験活動ボランティア活動総合推進センター	アドバイザー	久世郁夫
(財)あしたの日本を創る協会	評議員	久世郁夫
文部科学省	中央教育審議会(スポーツ青少年分科会)委員	青木富造
文部科学省	ネット安全安心全国推進会議委員	青木富造
総務省	安心ネットづくり促進協議会普及啓発委員会委員	青木富造
(社)中央青少年団体連絡協議会	副会長	青木富造
(独)国立青少年教育振興機構		
	国立オリンピック記念青少年総合センター施設業部運営委員	青木富造
NPO法人	自然体験活動推進協議会理事	青木富造
(財)日本ウォーキング協会	評議員	青木富造
(社)中央青少年団体連絡協議会	常置委員会 国際委員	古城門奈津
(社)中央青少年団体連絡協議会	常置委員会 広報委員	志村和也
(社)中央青少年団体連絡協議会	特別委員会	
	国際理解・国際交流体験活動事業実行委員	平山行雄

IX 表彰

1. 第4回SYDボランティア奨励賞

(1) SYDボランティア奨励賞・パンフレット配布

募集パンフレット20,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・大学、新聞に掲載されたボランティア活動実施小学校等へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会へ広報依頼をしたところ、昨年を上回る157件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催

日 時 平成22年1月18日(月) 13時～14時

会 場 SYDビル16階会議室

出席者 選考委員 7名

明石要一(千葉大学教授)

長沼 豊(学習院大学教授)

青柳修治(全日本中学校長会事務局長)

山田一功(日本PTA協議会相談役)

國分正明(財団法人修養団理事長)

山崎一紀(財団法人修養団専務理事)

青木富造(財団法人修養団青年部部長)

職員 3名

【選考結果】

・文部科学大臣賞 1点

豊田市崇化館中学校 麦の会(愛知県)

・優 秀 賞 3点

《小学生の部》 日吉子どもサミット(滋賀県)

《中学生の部》 名古屋市立はとり中学校(愛知県)

《高校生の部》 中央学院高等学校 生物部(千葉県)

《大学・一般の部》 該当なし

・特 別 賞 5点

SYD北海道クラブ(北海道)

横浜市立岡村中学校(神奈川県)

長野県飯田風越高等学校 国際教養科3年(長野県)

みんなでつくる学校 とれぶりんか(大阪府)

広島文化学園短期大学 食物栄養学科(広島県)

(3) SYDボランティア奨励賞贈呈式

日 時 平成22年2月7日(日) 13時～15時

会 場 SYDホール

出席者数 86名(受賞関係者28名、来賓2名、全国青年ボランティア・フェスティバル参加者39名、一般参加者1名、SYD役職員16名)

内 容 文部科学省スポーツ・青少年局の池田輝司青少年課長より来賓祝辞と文部科学大臣賞の贈呈、選考委員で日本PTA協議会の山田一功相談役より選考経過の報告、國分理事長より各賞贈呈、その後各受賞者から挨拶と活動発表があった。

2. 平成21年度修養団年次功労者表彰(創立104周年)

特別賞 【蓮沼賞】7名(追贈1名を含む)

千葉与市(北海道)、今井新吉(福島県)、高橋英夫(追贈)(福島県)
猪爪芳朗(千葉県)、小谷富一(新潟県)、小林百合子(新潟県)
吉田スズ子(香川県)

個人表彰 4名 団体表彰 1団体

個人感謝状 11名 団体感謝状 1団体

XI. 諸会議の開催

1. 理事会

(1) 第1回理事会

期 日 5月20日(水)

会 場 SYDビル16階会議室

出席理事 17名(本人出席13名、委任状出席4名)

出席監事 2名(委任状出席2名)

オブザーバー 1名

議 題

- ア. 平成20年度事業報告について
- イ. 平成20年度収支決算について
- ウ. 新定款(案)について
- エ. 評議員の一部交替について
- オ. 平成21年度上期慰労手当の支給について

(2) 第2回理事会

期 日 9月30日(水)

会 場 SYDビル16階会議室

出席理事 17名(本人出席11名、委任状出席6名)

出席監事 2名(本人出席2名)

オブザーバー 1名

議 題

- ア. 評議員選定委員の選任について
- イ. 評議員候補者の推薦について
- ウ. 土地買収補償金の処理について
- エ. その他
 - ・下期慰労手当の支給について
 - ・今後の理事会開催について

(3) 第3回理事会

期 日 12月10日(木)

会 場 SYDビル16階会議室

出席理事 17名(本人出席12名、委任状出席5名)

出席監事 2名(本人出席2名)

オブザーバー 2名

議 題

- ア. 子どもゆめ基金廃止の場合の事業について

- イ. 賃貸料値下げについて
- ウ. 公益法人認定申請の一時凍結について
- エ. 明治通り拡幅に伴う土地工事について

(4) 臨時理事会

期 日 平成22年2月16日(火)
会 場 SYDビル16階会議室
出席理事 17名(本人出席12名、委任状出席5名)
出席監事 2名(本人出席1名、委任状出席1名)
議 題

- ア. 賃貸借期間内解約の件について
- イ. 賃料について
- ウ. 訴訟について
- エ. 今後の対応について

(5) 第4回理事会

期 日 平成22年3月24日(水)
会 場 SYDビル16階会議室
出席理事 17名(本人出席11名、委任状出席6名)
出席監事 2名(本人出席2名)
オブザーバー 1名
議 題

- ア. 平成22年度事業計画書(案)について
- イ. 平成22年度予算大綱(案)について
- ウ. 評議員の選任について
- エ. 貸付金貸倒れ処理について
- オ. 愛汗苑について
- カ. その他
 - ・ 次回の理事会開催について
 - ・ 公益財団法人認可申請について

2. 第109回定期評議員会

期 日 5月30日(土)
会 場 SYDホール
出席評議員 74名(本人出席37名、委任状出席37名)
オブザーバー 2名
議 題

- ア. 平成20年度事業報告並びに収支決算について
- イ. 平成21年度事業計画並びに収支予算について
- ウ. 平成22年度事業計画への要望について
- エ. 明治通り拡幅に伴う土地買収の件について
- オ. 公益法人制度改革及び新定款(案)について

3. 評議員選定委員会

期 日 11月5日(木)
会 場 SYDビル16階会議室
出席者 選定委員5名(明石要一、池田邦彦、大塚学、深町均、吉田正志)
事務局3名(國分正明、山崎一紀、真下淳一)
議 題 公益財団法人認定の移行後最初の評議員候補者の選定について

4. 後援会役員会

期 日 6月16日(火)
会 場 SYDビル16階会議室
出席者 7名
本部役職員 4名

5. 顧問会

期 日 6月24日(水)
会 場 SYDビル16階会議室
出席者 6名
本部役員 2名

6. 弔 事

〈別表-17〉

山本正淑顧問をはじめ、多数の恩人・先輩・名誉団員・永生会員・同志各位が逝去され、弔意を表した。

7. 慶 事

- (1) 平成21年度社会教育法施行60周年記念「社会教育功労者表彰」について
文部科学省より、全国的見地から社会教育関係の団体活動に精励し社会教育の振興に功労のあった115名が表彰された。そのうち、本団から岡部宣子理事(本団推薦)、青木富造青年部部長(中青連推薦)が受賞した。
なお、表彰式は11月20日文部科学省講堂にて行われた。

8. その他

- (1) 明治通り拡幅に伴う土地売買契約について
明治通り拡幅に伴い、修養団所有地71.3㎡を398,688,210円で売却することで東京都と合意し、平成22年3月8日に“土地売買契約”を完了した。
- (2) 土地売却に伴う物件移転補償契約について
土地売却に伴う“物件移転補償契約”を平成22年3月8日に32,214,354円で東京都と取り交わした。(工事見積もりは49,875,000円で約1,800万円持ち出し)

後援会活動報告

平成21年度後援会活動は、6月11日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額は1,800万円の達成をめざして6月中旬より活動を開始。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日立グループ、宇部興産グループ、パナソニック、フジタ、キッコーマン、東京電力、北越紀州製紙、東芝、マービー等々法人会員126社、個人会員199名の方々の深いご理解と温かいご支援により、13,130,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額12,892,399円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

1. 会員移動状況

(1) 新入会員

〈法人会員2社〉

(福島県)ライフフーズ^{株式会社}、(東京都)^{株式会社}協和

〈個人会員15名〉

(埼玉県) 中曽根語良、横山貞子 (千葉県) 古城門奈津
(東京都) 藤原千也、児玉雅子、松下晴之介、志村和也、平石和夫
(静岡県) 蓮沼清子 (島根県) 田村勝則 (山口県) 内藤一枝
(愛媛県) 西山雅啓 (熊本県) 藤本慶子 (佐賀県) 北村恭子、中島紀代子

(2) 逝去会員〈個人会員2名〉

(新潟県) 外山芳也 (愛媛県) 岡部ヨシエ

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉	〈募金実績〉
法人会費 14,500,000円	法人会費 10,930,000円
<u>個人会費 3,500,000円</u>	<u>個人会費 2,200,000円</u>
合 計 18,000,000円	合 計 13,130,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月11日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月中旬より募金活動を開始。平成21年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地方法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

3. 広報活動

- (1) 修養団機関誌『向上』6月号に平成20年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に平成21年度をお願いをした。
- (2) 『向上』(平成21年度5月号より1年間)及び平成22年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

期 日 6月16日(火) 11時～13時

会 場 SYDビル16階会議室

出席者 会 長 藤村正哉

常任幹事 山中啓一、山本憲一、西村敏行、相沢俊行、細井和則

監 事 芳賀律(松野正人監事代理)

修 養 団 國分正明、山崎一紀、久世郁夫、岩佐加寿子

議 事

ア. 平成20年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 平成21年度後援会事業計画案及び収支予算案について

ウ. 平成20年度修養団主要事業報告並びに

平成21年度修養団主要事業計画について

エ. その他

5. 平成21年度収支報告 (平成21年4月1日～平成22年3月31日まで)

貸 方 (支出)	科 目	貸 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	10,930,000 (126 社)	11,160,000 (132 社)
	〃 (個人)	2,200,000 (199 名)	1,960,000 (190 名)
	その他の収入		
12,892,399	修養団後援金		
5,030	旅 費		
8,925	印 刷 費		
78,711	通 信 運 搬 費		
84,000	消 耗 品 費		
40,425	会 議 費		
20,510	雑 費		
13,130,000	合 計	13,130,000	13,120,000